

10/12 秋の鹿の子沢を散策

観光協会主催の2015秋あけと森林ウォークが10月12日、鹿の子沢で開かれ、町内外から30人が参加しました。NPO法人常呂川自然学校の羽根石晃彦理事長がガイド役を務め、参加者は木の樹種やコケなどの説明を受けながら虹の滝や三本柱、色づいた紅葉を眺めながら展望台まで散策しました。そして、森の中でプチコンサートが開かれ、森の中で奏でるハーモニーに耳を傾けていました。



10/13 長寿をお祝い

数え年で100歳となった常楽園、緑清園に入所している3人への総理大臣からのお祝い状と銀杯が井上町長から10月13日に伝達されました。この日は100歳を超えて元気に誕生日を迎えた2人にも花束が贈られ、町社会福祉協議会溝井会長や家族もお祝いに駆け付けました。井上町長からの「いつまでもお元気で」との声かけに皆さん笑顔を見せてうなずいていました。



10/24 健康と福祉を学ぶ多彩な催し

開町100周年記念いきいきライフフェスティバル2015が中央公民館で開催されました。血管年齢や骨密度測定コーナーなどがあり、多くの来場者でにぎわいました。講演の部では、置戸生まれの三重大学教育学部の弓場徹教授が「YUBAメソッドで歌って！踊って！認知症予防と改善」と題して講演。「歌唱訓練で認知症を改善できる」との話に、参加者は興味深く聞き入っていました。



10/25 生ごみを堆肥化し還元

各家庭から排出された生ごみを主原料として製造した生ごみ堆肥の町民還元が10月25日、町堆肥供給センターで行われました。この日は、十分に発酵が進み、湯気の立ち上るホカホカの堆肥35トンが用意され、集まった160世帯余りの町民へ無償で還元。有機質に富み、土壌改良剤としての効果が期待できる生ごみ堆肥は、家庭菜園や花壇づくりに用いられます。

